

# ほっと

## NPO法人 ほっと会報

〒590-0048  
堺市堺区一条通19-13 上荳ビル2階  
☎ 072-228-3011 FAX 072-228-3012  
E-mail npo-hot@nifty.com  
NO. 67 発行: 2025年(令和6年)1月14日



ケアホームえると(北東エリア)から、総勢42名(なかま25名)が、正月に奈良に出かけて初詣しました♪奈良公園は、凄いい人混み(外国人も多く)。夕食・はやでの焼肉は、みんなとてもいい顔で楽しめました。今回は、外部の方からの寄付もあり、少し贅沢が出来た取り組みでした。感謝です。

新年あけましておめでとうございませう。皆様には、新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。  
**能登の復興を願います**  
昨年正月に起こった能登半島地震。そして復興に向かう矢先に襲われた記録的な集中豪雨。「豪雨で心が折れた」



NPO法人ほっと 理事長 松永健治

**諦めず、希望を持って歩む年に!**

と現地の方々が語っておられたことが心に焼き付いています。最も怖いのは、被災された方々が希望を失ってしまうことです。被災された方々が希望を失わないように、政治・社会の役割が求められます。遅れている暮らしの再建と復興のまちづくりが、速やかにすすむことを願ってやみません。

**勇気つけてくれた昨年**  
私は、新年にあたって「決して諦めない」「みんなで希望を持って歩む」年にしたいと思っています。

昨年「アンケート調査」を実施しました。沢山の方々の協力とアンケートを集約・整理分析することができました。改めてお礼申し上げます。  
**一人ひとりの生活保障**  
成年後見制度の普及について、高齢者(認知症)では一定です。ですが、知的障害者ではなかなかすすんでいないという現実があります。アンケート結果からは、「親が元気だから」「費用のこと」「制度への不安」などから、「家族が元気なうちは考えていない」「将来は、兄弟姉妹に託す」といった、家族支援に頼る声はまだ多く出されています。

「家族の絆」は大切です。「助け合う」ことも大切なことです。しかし、一人ひとりの生活保障と社会的支援による暮らしを確立し、誰もが個人として尊厳を持って生きられる社会をめざすことが求められていると思います。

今回のアンケート調査結果、皆様の生の声を活かして、少しでも安心して活用できる成年後見制度めざし、力を合わせていく決意を申し上げます。新年のご挨拶とします。

## ほっと、今までの歩みと、これからの支援

2006年NPO法人ほっとが設立され、19年の歳月が流れました。  
今回、2006年1月14日発行された第1回目の機関誌(左に掲載)の資料を掲載させていただきます。2005年11月に「ほっと設立に向けて」成年後見制度学習会を開催した内容が掲載されています。  
この記事からも将来に対する不安を多くの家族が抱いていることがわかります。この19年の間に制度的にどのような変化があったのだろうかと考えさせられる記事でした。



日本の成年後見制度は、元々は「禁治産者制度」、「準禁治産者制度」といった人としての権利を守る制度ではなく、資産を引き継いでいくために個人の権利を制限するための制度がベースになっていました。そのため、制度を利用することによって、選挙権の行使、資格の習得や、職業選択に大きな制約が残されていた(欠格条項)。その制限対象となる条項も180以上にも上りました。見制度の利用を妨げる原因になっていたので、2019年欠格条項の廃止で、ノーマライゼーションや自己決定権の尊重が、一歩進められました。2020年には意思決定支援の重要性を条項の中に組み込まれました。  
法律的には権利を守る制度としての前進がみられます。ですが、その支援体制については都道府県での格差を含め、まだまだ不十分な状況となっています。ほっとは、家族とともに繋いできた19年の歩みを大切にしながら、権利を守るための成年後見制度の確立を目指して今後も取り組んでいきたいと思っています。今年も物心両面でのご支援よろしくお願いたします。  
NPO法人 ほっと  
事務局長 仲村 勉

## まちがいさがし

2つの絵をよくみて、ちがうところを探そう! ぜんぶで7こあるよ。

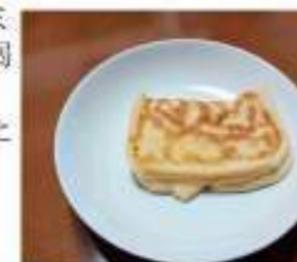


☞答えは3面の左下にあります。

## もちもちフレンチトースト♪

お餅のスイーツ♪食べたい時にすぐ作れる! 上品な甘さともっちりした食感♪

- (材料)
- ① 切り餅: 2個 (6等分程度に切る)
  - ② 牛乳: 100cc
  - ③ 砂糖: 大さじ2
  - ④ 卵: 1個 (よく溶きほぐしておく)
  - ⑤ バター20g
- (作り方)
- ① ①と②耐熱ボウルに入れて、レンジで約3分10秒
  - ② ①をレンジから取り出してよく混ぜる。
  - ③ ②に③と④を入れて、再びよく混ぜる。
  - ④ 卵焼き器に火を付け、⑤を溶かして②を入れて焼く
- 焼き方: アルミホイルを被せて弱火で約4分
- ⑤ 半分に折りたたんで、お皿にのせ、完成♪





# 障がいのある人の権利を守り、あたたかい大阪を！

～願い持ち寄り、なかま家族、職員、関係者300人超が集う！～



五島まるたせんせい

歌とトークで、心と身体も温まるパフォーマンスで盛り上げます♪



肢体障害者代表

駅ホームの可動柵は嬉しい。しかし、駅員がいなくなって困っています。



聴覚障害者代表

駅員がいなくて困っている。急を要する時には本当に困る。危険。

### 【大阪障害児・者を守る会代表】

親も子も自立して暮らせるような社会になって欲しい。障がい者がどこで暮らすのか？他の人と同じように選択できるようにして欲しい。親から「自立した生活をさせたい」「したい」が実現できるようにして欲しい。親も高齢になって「待たなし」です。直ちに解消して欲しい。

### 【大阪生活の場をつくる会代表】

この間、生活の場の不足の実態を示して要望を続けてきた。マスコミが取り上げてくれるようになって、やっと厚労省が「実態調査する」と発表した。一步前進です。今後の役に立つ調査をして欲しい。国会請願署名を沢山届けたい。ご協力下さい。



障がい者の権利拡充を求める脈々とした運動が継続され、障害者権利条約、日本政府への勧告が出されている。障がい者の生きる権利、学ぶ権利、働く権利、政治参加の権利の拡充をめざし、粘り強くすすめて行こう！（主催者挨拶）

高等部を卒業しても、もっと学びたいとの願いがある。4年間学ぶと新たな力を付けて社会に出て行っている。障がい者にも「他の者との同等」に学べるように！（学びの場から）

万博・カサノより市民のくらし福祉・医療・教育にかかわる施策を充実してください



府庁に署名の提出する集会の代表

## 答え



- ・職員を増やして下さい。キーパーさん、ヘルパーさんを増やして下さい。
- ・仕事を頑張っている。給料を上げて！
- ・仕事をもっと欲しい。
- ・作業所へ仲間がいっぱい来て欲しい。
- ・私たちのことを聞いて欲しい。

（なかまからのアピール）

12月9日、大阪城公園教育塔前広場で、300名超が参加し、第34回ヒューマンウェーブ集会が開かれました。オープニングには、五島まるたせんせいが、ギターを携え素敵な衣装で登場♪楽しい歌とトークで心も体も温まるパフォーマンスで大いに盛り上げました。まず、寄せられた大阪府知事宛ての署名3,273筆を提出するために、参加者の大きな拍手を受けて集会会場から代表団が出発しました。冒頭、主催者の基調報告を兼ねた開会あいさつ。続いて各団体からの決意を込めた発言。そして、なかまからは作業所やグループホーム、学びの場などの実情と要望＆夢を語るアピールがつづきます。最後に、みんなで府庁前に集まり、参加者300人がスタンディングしてラップ調のリズムに乗せてシュプレヒコールを元気に響かせました。